



令和五年度  
第一回理事会・定時評議員会  
開催される

今年度の第一回理事会が五月二日、定時評議員会が五月二四日に開催されました。

定時評議員会では、役員任期満了や辞任に伴い、新たに監事三名、理事五名、評議員一二名が選任されました。

その後に開催された臨時理事会で、副会長一名が選定されました。主な決議内容は次のとおりです。

◆理事会

【承認事項】

- ① 令和四年度事業の概要報告
- ② 令和四年度会計決算承認
- ③ 監査報告
- ④ 役員等の候補者の推薦
- ⑤ 令和六年度秋田県消防大会の開催支部
- ⑥ 第六十回秋田県消防操法大会について

◆評議員会

【議事】

- ① 令和四年度事業の概要報告
- ② 認定第一号 令和四年度会計決算承認
- ③ 監査報告
- ④ 役員等の選任

【協議事項】

- ① 令和五年度事業計画・収支予算
- ② 秋田県消防大会について
- ③ 第六十回秋田県消防操法大会の概要

題 字  
初代会長 松野盛吉  
発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 高橋正尚  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
http://www.shoubou-akita.or.jp  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp  
印刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
http://www.matsubairainsatsu.co.jp



一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (令和5年5月24日現在)

〔理事〕

役職	氏名	所属・階級等
会長	高橋正尚	美郷町消防団 団長
副会長	内田清隆	鹿角市消防団 団長
"	永澤靖雄	秋田市消防団 団長
"	樋渡徹	横手市消防団 団長
理事	和田聡	秋田県総務部総合防災課 課長
"	渡邊正人	能代市消防団 団長
"	佐藤孝吉	湯沢市消防団 団長
"	門間勉	潟上市消防団 団長
"	武石聡	上小阿仁村消防団 団長
"	阿部一彦	由利本荘市消防団 団長
"	工藤琢磨	秋田市消防本部 消防長
"	佐藤広樹	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防長
"	泉政樹	能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防長
業務執行理事	佐藤功	秋田県消防協会 事務局長

〔監事〕

役職	氏名	所属・階級等
監事	長岐邦雄	北秋田市消防団 団長
"	三浦公德	井川町消防団 団長
"	鈴木修	東成瀬村消防団 団長

〔評議員〕

役職	氏名	関係する消防機関
評議員長	澤口紀夫	小坂町消防団
評議員	前田幸栄	鹿角市消防団
"	武田博康	大館市消防団
"	中嶋忍	北秋田市消防本部
"	伊藤孝年	藤里町消防団
"	石井義則	三種町消防団
"	笹村清幸	八峰町消防団
"	齊藤英一	男鹿市消防団
"	千葉與右工門	五城目町消防団
"	渡部広保	八郎潟町消防団
"	松橋稔	大潟村消防団
"	佐々木徹	秋田市消防団
"	大山司	秋田市消防団
"	金子英紀	にかほ市消防団
"	東海林優	由利本荘市消防団
"	佐藤英樹	由利本荘市消防本部
"	田村健郎	大仙市消防団
"	佐藤乃三	仙北市消防団
"	佐々木利廣	横手市消防団
"	珍田藤雄	横手市消防団
"	藤原宣一	羽後町消防団
"	近野仁	湯沢市消防団
"	佐藤正晴	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部



元美郷町消防団  
分 団 長 中野 龍一

元大仙市消防団  
副 団 長 藤谷 勉

元大仙市消防団  
副 団 長 茂木 勘之丞

元北秋田市消防団  
分 団 長 森川 竹廣

元仙北市消防団  
分 団 長 山手 善美

第四〇回 危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(七名)

元秋田市消防本部  
消 防 監 石川 昌彦

元横手市消防本部  
消 防 司 令 長 小野 一男

元横手市消防本部  
消 防 司 令 長 東海林 俊一

元大館市消防本部  
消 防 司 令 長 高橋 幸一

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
消 防 監 高橋 禎悦

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消 防 監 辻 邦明

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部  
消 防 司 令 長 三上 強

◆瑞宝单光章(一名)

元大館市消防本部  
消 防 司 令 長 山下 幸一

新消防長紹介

【令和五年四月一日就任】



北秋田市消防本部  
中嶋 忍



能代山本広域市町村圏組合消防本部  
泉 政樹



湖東地区行政一部事務組合消防本部  
斎藤 直樹



由利本荘市消防本部  
佐藤 英樹



横手市消防本部  
鈴木 勉

【令和五年四月一日就任】

新消防団長紹介



大館市消防団  
武田 博康



北秋田市消防団  
長岐 邦雄



五城目町消防団  
千葉 與右門



八郎潟町消防団  
渡部 広保



由利本荘市消防団  
阿部 一彦



大仙市消防団  
田村 健郎



仙北市消防団  
佐藤 乃三



横手市消防団  
樋渡 徹



羽後町消防団  
藤原 宣一

第七七期 初任教育始まる

五一名が新たな一歩を踏み出す

秋田県消防学校

秋田県消防学校の初任教育第七七期入校式が四月一四日(金)県内一三消防本部から五一名の入校生並びに来賓、家族など約二〇〇名が出席し同校屋内訓練場で行われました。入校式では、渡辺明校長の式辞に続き、神部秀行秋田県副知事、工藤琢磨秋田県消防長会長、高橋正尚秋田県消防協会長が祝辞を述べ、入校生を代表し秋田市消防本部の安藤修平消防士が宣誓を行いました。初任教育は、九月一五日まで行われ、警防隊員として活動できる能力を養成します。





初任教育第77期入校生名簿

秋田市消防本部

佐藤 宏 要  
倉内 友也  
柏谷 一輝  
富樫 拓末

安藤 修平  
夏井 隆一  
京極 陽人  
長谷川 香子

大館市消防本部

兔澤 慶伍

北秋田市消防本部

久我 拓未  
藤嶋 菜々

川口 翔  
小野 美咲

由利本荘市消防本部

澤田 啓吾  
佐藤 岳

渡部 巧大  
齋藤 貴仁

にかほ市消防本部

鈴木 琉ノ介  
齋藤 華斗

阿部 凌大

横手市消防本部

小場 夏亜  
佐藤 小春

高辻 伊織

五城目町消防本部

武田 愛

鹿角市広域行政組合消防本部

佐藤 侑都 安保 蓮  
宮沢 達也 館花 朔弥

能代山本広域市町村圏組合消防本部

金田 爽 原田 将宏  
加藤 大河 堀井 煌也

湖東地区行政一部事務組合消防本部

三浦 宏太郎 小野 彩人

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

安藤 竣利 夏井 大樹  
宮崎 泰我 吉田 庄蔵

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

黒田 登夢 伊藤 麟太郎  
鈴木 吟河 菅原 直綺  
佐々木 翔 加藤 大澄誠  
原 遼馬 市川 誠  
伊藤 珠希琉

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

高橋 麻優 高橋 平  
佐藤 天舞 榎本 仁夢

秋田県消防学校職員名簿

校 長 渡 辺 明  
副 校 長 武 藤 学  
副校長・班長 大 野 光 徳

総務班

副主幹・班長 児 玉 弥生子  
副 主 幹 手 塚 昇  
主 事 菊 地 彩 香  
技能主任 齋 藤 佳 人  
職 員 田 口 美 穂  
舎 監 今 野 裕 徳  
舎 監 吉 成 勉  
舎 監 鎌 田 千 尋

防災学習館説明員

鈴 木 忠  
佐 藤 康 弘  
佐 藤 浩 之

教務班

副校長・班長 大 野 光 徳  
副 主 幹 池 田 敏 英  
副 主 幹 近 藤 信 哉  
副 主 幹 藤 原 克 美  
副 主 幹 佐 藤 玲 緒 奈  
専 門 員 伊 藤 弥 真 彦  
主 査 長 岐 博 文



## 第七七期初任教育

## 一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校

安藤 修平  
(秋田市消防本部)

五月二日に配属先で実務研修を行い、職場の先輩からたくさんのお話を吸収できました。

活動している先輩方を見て、消防学校で学んでいる基礎がとても大切だと感じました。先輩方は基本的に忠実で、その定着が重要なことだと改めて思いました。今回指導していただいたことを忘れずに、これからも取り組んでいきたいと思えます。

また空気呼吸器を背負い五階までダッシュする救助訓練にも参加しましたが、先輩方は顔色一つ変えずにやっております。自分はまだまだと痛感しました。日頃の体力錬成も、何を目的に、どうやるのか考えながらやるのが大切だと感じました。

この一ヶ月は、ただただ教官から言われたことをやっていたが、五月からは、どうすればもっと良くなるか考えながら取り組み、十月に職場に戻った際、少しでも戦力になれるよう努力していきます。

夏井 隆一  
(秋田市消防本部)

一ヶ月が終了し、ようやく慣れてきたが、入校前の緊張感を忘れず寮生活と授業を頑張っていきたい。また、授業で学んだ、安全、確実、迅速の順番を忘れないようにしたい。

二日に所属である城東消防署で実務研修を行った。八時半に全員で交際事故などによる通行止めの確認を行っていき、いかに現場に迅速に向くことが必要かを身近で感じるようになってきた。

また、資機材の点検を何度も行って、人命救助には準備が八割という意味を改めて知った。

訓練ではロープ結索と梯子登梯、降梯、水槽車からの放水を行った。先輩職員のやり方を見てから初めて登梯した。それを見て、コミュニケーションを取ることがどれだけ大切かを改めて知った。大きな声でしっかりと反応することで、自分の命を守ることも出来ることを教えていただいた。訓練時には、なぜ大きな声が必要かを常に考えていきたい。

帰る際に緊急通報があり見送りをした。緊急自動車が発車する前に安全確認を残った者で行った。自分が運転する時も気をつけて運転した。

澤田 啓吾  
(由利本荘市消防本部)

一ヶ月を振り返ると法制度や服務規則などの勉強、ロープやホースの取扱方や体力錬成など、消防士としての基礎を身に付けるために、毎日ひたすらに頑張れたと感じます。

先日、実務研修を行いました。勤務交代要領、車両点検の見学から始まり、先輩方に消防学校で学んだ一ヶ月を見て頂きました。

その中で、出動の基本訓練として防火衣の着装を先輩方と一緒に学びました。先輩方の着装は早く、私が着終わるまでに二十秒ほど差があったと感じます。

先輩方には工夫の跡があり、長靴のファスナーには蛍光色のヒモを繋ぎ目立たせていたり、上着を着る際の姿勢等の指導をして頂きました。

早く着装するには、何度も練習し、自分なりにチャックやテープを閉める順番を決めておくことで、ミスのない早い完全着装になることをご教示頂きました。

その他の結索訓練等でも、先輩方には速さや正確性があり訓練の賜物と感じるとともに、もっと私自身訓練が必要だと痛感しました。

市民から信頼される消防吏員となるために不断の努力で頑張ります。

佐藤 小春  
(横手市消防本部)

五月二日に、所属の消防本部で日勤の実務研修がありました。

研修では、初めに交替式と車両点検の様子を見学しました。入校前の研修では、交替式の動きの意味が全く分からず、ただ見ているだけでした。しかし、先日の研修では、頭の中で次の動きを予測しながら見る事ができました。

他にも、結索訓練や三連梯子の訓練などにも参加しました。そこで私は、一つ一つの細かな確認や判断が自分と相手の命を守るのに必要なことであると思いました。ロープの端末の長さでも、梯子の上り下りの仕方一つでも誤れば、自分と相手の命を危険に晒してしまうのだ、と改めて注意しようと思いました。

研修の途中で何回か救急の出動要請がかかり、先輩方が出動する様子を見ました。傷病者を一秒でも早く助けるために、日頃から訓練や器具の点検を行っていきながら、後の出動する姿は胸に残りました。

これからの消防学校の生活でも、研修で学んだことを活かしながら、立派な消防士になるよう一生懸命頑張っていきます。



原田 将宏  
(能代山本広域市町  
村組合消防本部)

入校後一ヶ月が過ぎ、私たちは各所属に実務研修に行った。研修では、先輩方の技術など一つでも多く盗むだけではなく、自分が一ヶ月訓練や座学で学んで覚えたことを先輩方に見せたいなと思っていた。

当日の朝方に車両火災が起きていたため、所属に行ったときには、とてもバタバタしていた。現地調査に行く人やその片付けをしている人など、朝から忙しさを実感した。

朝のミーティングが終わわり、車や資機材の点検もした。朝だけでなく昼や夕方など、自分がいた時だけでも三回も点検していた。火災・救急の要請がいつあってもいいように、また、その時に迅速に出動できるように日頃から点検を大事にしているんだなと思った。自分が持っている防火衣や道具も、ベストな状況で使えるように手入れをしていきたい。

午後からは、三連梯子の訓練もした。先輩方から、アドバイスを頂きながらやった。架梯してからの登梯や降梯もやった。一つ一つの動作に呼称が必要だが、大きな声を出してできたと思う。

次の実務研修までに一回りも二回りも成長して、先輩方を驚かせられるように頑張りたい。



安藤 竣利  
(男鹿地区消防一部  
事務組合消防本部)

五月二日、所属で実務研修を行った。日頃学んでいる訓練の内容を主に指導していただいた。ロープの結索の仕方やホース操法など、学校とは異なる消防署独自のやり方もあったが、全ては現在学んでいる基礎から成っていることが分かった。

所属で研修を経験し、消防操作法を学んだほか、挨拶や呼称、自ら率先して動くということを見て学ぶことができた。訓練で、隊長の指示を必ず呼称していることや、自分の動きを周りの隊員に伝える意味があるなど、改めて重要なものであると分かった。次の訓練に移る時の道具の片付けや準備などを進んで行っていた。

この一ヶ月の学校生活で教官から指示されていることや注意されていること全てが、所属で勤務する上で必要となつていくことであつた。また、授業で言われたことと同じ内容の説明もあつたので、一ヶ月やってきた内容を整理し、身に付けることやこれからの授業に対してもしっかりと覚え、所属や現場で一人の隊員として動けるようになっていきたいと思つた。



夏井 大樹  
(男鹿地区消防一部  
事務組合消防本部)

一ヶ月が経ち学校生活にも慣れ、充実した生活を送れています。この一ヶ月で学んだことを活かし、五月二日に実務研修という形で実際に勤務をしました。その研修を経て感じたことが二つあります。

一つ目は、準備が大切だということとです。いづれどこで誰が何があつてもいいように早く行ける準備であったり、もしここで何か起きたらどうするかなど、常に考えながら仕事をしています。私はとても不器用で、一つのことをやるのにいつも時間がかかつてしまいます。平日頃から、迅速に且つ丁寧に物事をこなせるように意識していきたいと思えます。

もう一つは、年齢関係なく誰ともコミュニケーションを取っていることです。現場でのコミュニケーションは大事だと教えられていましたが、やはり普段の生活や仕事で行っていないと現場でもできないので、挨拶であつたり、分からないことは積極的に聞いたりなど、声に出して伝える、聞くということを習慣づけていきたいと思いました。消防学校でも、あまり話せていない人もいますので、積極的に話していきたいと思えます。

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社  
株式会社

能代消防センター  
協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

設 備  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号  
TEL 018(863)1551(代)  
FAX 018(853)6311

支部情報アラカルト

「ハッチくん」の作成者を紹介!

当支部では、令和元年度から火災予防啓発用品としてオリジナルポケットティッシュを作製しています。今回は、そのデザインを担当している大館市消防本部の渡部祐輝消防士長をご紹介します。

きっかけは「マスクotteキャラクターを作成してみないか」という先輩からの提案でした。絵を描くことが好きだった私は、



ハッチくん・ハチコちゃん

忠犬はち公をモチーフに、市民に寄り添う優しさと正義感を表現した「ハッチくん」というキャラクターを作成しました。

HPをはじめ、火災予防週間のチラシや、消防団関連の広報など多くの機会に使用されています。

様々なパターンで作成するうちに、ポケットティッシュや消防車両、シャッターデザインの仕事にも声をかけて頂くようになりました。

部署の垣根を越え、様々なデザインに携わり再認識したことは、どの部署も最終的な目的は「災害から市民を守ること」だということです。私の関わったデザインが、少しで



渡部祐輝消防士長自画像

も市民を守ることの一助になればという思いで取り組んでいます。

今年、生誕一〇〇年を迎えるハチ公は、これまで多くのキャラクターや製品に生まれ変わっています。

その生まれ変わりのひとつである「ハッチくん」が、私に新たなやりがいを与えてくれました。

その結果生まれたデザインが市民を守ることに繋がれば、ハチ公やこれまで機会を与えてくれた方々への恩返しになると思っています。(本人談)

(情報提供) 大館北秋田支部

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和 5 年		令和 4 年			同期比較	
	5 月	累計	5 月	累計	年計	3 月	累計
建 物	17	94	18	84	165	- 1	10
林 野	9	25	8	24	27	1	1
車 輛	3	11	4	16	33	- 1	- 5
その他	6	42	25	65	89	-19	-23
合 計	35	172	55	189	314	-20	-17
死者数	1	9	3	12	26	- 2	- 3
負傷者数	12	35	4	26	36	8	9

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検  
トーハツポンプ | キンバイホース  
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)